



バリアフリー推進レポート



ジェンダー主流化の取組に関する座談会を開催しました！

国土交通省では、国土交通分野における「ジェンダー主流化」[※]の取組を業界全体に進めることを目的に、ジェンダー主流化に関する社会の気運醸成を図り、必要な知見を蓄積するための取組の一環として、各地方運輸局において座談会を開催することとしました。

中国運輸局では、観光・鉄道・自動車・海事等の各事業分野で活躍する女性の経営者・幹部の皆様をお招きし、下記のとおり、座談会を開催しました。

※ジェンダー主流化…行政やサービスを提供する側が男女の異なるニーズを理解して政策やサービスに反映していくこと

【会議概要】

- (1) 日時： 令和6年12月17日（火）13:30～15:00
- (2) 場所： 中国運輸局 5階会議室
- (3) 出席者：（順不同・敬称略）

分野	会社名	役職	氏名
観光	株式会社日本旅行	広島エージェント支店長	水野 千佐子
鉄道	広島観光開発株式会社	常務取締役 総務部長	村岡 直美
	西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部	経営企画部(人事)担当課長	近藤 加奈
バス	広島電鉄株式会社	DX・IT戦略室 課長	西谷 由江
	芸陽バス株式会社	第二営業部長	宮脇 由佳
タクシー	つばめ交通株式会社	経営管理本部リクルート課長	中尾 智奈美
トラック	今井運送株式会社	代表取締役	今井 麻衣子
	株式会社ムクダ産業運輸	代表取締役	高橋 理歌
海事	株式会社ヒロクラ	代表取締役社長	大塚 直子

行政	中国運輸局	局長（ファシリテーター）	金子 修久
		交通政策部長	阪場 進一
		交通政策部次長	海馬 恵美

- (4) テーマ：①女性の顧客の利用パターンやニーズを踏まえたサービスの提供や工夫
- ②女性が経営者・幹部であることを活かした取組
- ③女性の従業員の採用・定着や幹部への登用を増やすための取組
- ④上記のことに関連した気づきや支障、課題、国土交通省に期待すること

【テーマ別まとめ】

テーマ① 女性の顧客の利用パターンやニーズを踏まえたサービスの提供や工夫について

- 商品開発においても女性専用商品を作り出したのも30年くらい前だが、それくらいから当然のことという感じで取り組んでいる。【観光】
- 駅にベビールームがあるのはよいが細かいことに気がついていなかった。子育て経験者に意見を聞き、使いやすいベビールームにした。【鉄道】
- 男性女性問わず（従業員の）経験がものをいい、男性女性問わず、お客様に提供していければいいかなと思う。【鉄道】
- 子育て応援タクシー（塾の送迎）、妊婦応援タクシー（男性運転手も対応）【タクシー】
- J R東海の「お子様連れ」車両を、J R西日本やJ R九州まで拡大すれば顧客に案内しやすい。【観光】

テーマ② 女性が経営者・幹部であることを活かした取組について

- 様々な背景を持つ社員が増えてきた結果、時間を短くする代わりに出勤日数を減らす制度も導入。現在では月に8日減らすまでに制度等を拡充する。【鉄道】
- 「女性をもっと使いなさい」というのは男性幹部には機会あるごとに言っているが、だからといって女性を特別にひいきする必要もない。平等に育成してくださいということは口を酸っぱくして言っている。【海事】
- 基本的なところで男女のトイレ、シャワー室、休憩室を分けるなどの整備はできている。【トラック】
- 女性に聞けば、思いはある。それを取り上げる場がなかったのかもしれない。【鉄道】
- (育児や介護のため)仕事の段取りよく1分1秒無駄にせずやっていることが評価されずに、残業を気にせず長時間仕事している人が給料が良いのは、非常に不公平を感じる部分【トラック】

テーマ③ 女性の従業員の採用・定着や幹部への登用を増やすための取組について

- コロナの影響もあるが、フレックスの制度や在宅勤務をある程度できるようにした。【バス】
- 男性が家庭に関わるために会社がどう制度を設けてあげたらいいとか、その議論がもう少し社会全体であるべきではないかと思う。【バス】
- 妻がバスの運転手を希望したとき、夫は仕事の仕方を考えないといけないかもしれない、それは夫婦の中で合意できるのであれば、どちらがその役割を担えばいいのであって、女性だけがやりたい仕事や将来の夢を諦めるということがないような環境が作ればいい。【バス】
- 女性がハイレベルな仕事に挑戦したいという意欲を持っていてもなかなか表に出せない、出さない。あるいはライフイベントで自分のキャリアが途絶えることによって、同期入社男性よりも自分が遅れているとか、そういうふうな負い目はどうしても持ってしまう。【海事】
- (同業他社は)ライフイベントでキャリアが途絶えても離職期間があったということがマイナスにならないような仕組みを作っている。【海事】
- 男性も女性も同じくらいの仕事をしていたら、同じレベルのお給料がもらえることが大切。【海事】

【テーマ別まとめ】（続き）

テーマ④ 気づきや支障、課題、行政や国土交通省に期待することについて

- 2024年問題もある。乗務員の休憩をしっかりとって、絶対事故のない運行を確保したい。【タクシー】
- メンテナンス車両所や電気を扱っている設備とか、そこにそれぞれ女性社員を配置する場合の問題の一つとしてトイレがない、女性が夜勤するための宿泊所がない。設備数が多いため、補助を検討いただきたい。【鉄道】
- 環境整備について、国にもう少し完備してもらえたら、もっともっと働きやすくなる。【トラック】
- 高速道路ではサービスエリアが空いていないことが多く、一般道ではトラックを駐車できる施設に限られる。女性に限ったことでなく、社会全体で整備が進めばもっと働きやすくなる。【トラック】
- トラックGメンに本当によく助けていただいている。運送会社のお困りごと、言えないことというのを代弁して動いてくださっている。【トラック】
- トラックドライバーに対する価値の低さが未だに拭えない。ここの価値を向上させていかないと業界自体が更に活発になっていくことはないと思っており、一番声を大にして言いたい。【トラック】

【総括・講評】

- ◆ お話を聞いているとみなさんそれぞれの立場でいろんな苦勞をされてきている。
- ◆ 個々がいろんな選択できて、それを周りが潰すのではなく支えて、皆が働きやすい職場になっていけばいいと思っている。
- ◆ 女性ならではの視点、男性が気づいていないことや社会が気づいていないことに気づいてもらうことが必要、など多くの気づきがあった。
- ◆ いろいろ言いたくても言えない環境がいろいろと推察された。
- ◆ 我々に課せられているのは、まさに「これから」。どうやって反映させるかというところまで含めてジェンダー主流化である。
- ◆ 現実、急に明日変わっていくわけではない。諦めることなく一過性に終わらず息の長い取組が必要と改めて思った次第。
- ◆ （ジェンダー主流化の取組は）国土交通分野だけでなく、政府全体で国を挙げてやっていることなので、その中で運輸局ができる部分というのは全てではないかもしれないが、我々のできることはやっていきたいと思っているので、今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

【座談会の様子】

